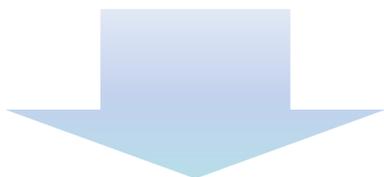


## ◇吉澤野球博物館受入及び受入後スケジュール（案）

○資料（野球資料・美術品）、土地、建物は全て寄贈いただく



26年度 **美術品評価**（野球資料については評価(?)方法を検討）  
26年秋 27年度建物調査のための予算要求  
27年夏 資料及び土地建物寄贈受入  
27年夏～ 建物調査

●あの場所で、博物館(美術館)として活用すると考えると・・・



~~27年度~~ ~~予算要求~~  
27後～28前 設計方針検討（1年弱）  
28年度 予算要求  
29年度 設 計  
30年度 工 事  
31年度 完成公開

## ◇平成18年度作成（仮称）清川記念館の新たな運営方針

### 【運営方針】

- 船橋の新しい文化の発信の場
- 美術学習支援の場
- まちづくりの場
- 清川コレクション等の活用

### 【具体的運営】

#### ①企画展の開催

優秀な学芸員・スタッフによる魅力ある企画展の開催

#### ②学習支援活動の実施

講演会・講座・教室・ワークショップ・出前講習会・アートカフェ

#### ③ギャラリーとしての貸出し

新進作家の支援、一般愛好家への貸出し

#### ④美術研究活動

椿貞雄他、船橋に関連した芸術家の研究

アーティスト・イン・レジデンス

#### ⑤庁内美術品の管理

庁内美術品の一体管理、寄贈品対応

#### ⑥市民交流活動



これでも、

**具体性は感じられない**

### □具体性とは？

- ・○○○に特化する
- ・○○○がウリ

## ◇ その他検討事項等

### ●登録博物館について

#### ◇メリット

- ・社会的信用
- ・他館との連携・協調
- ・税制面（事業所税免除のみ、寄付金寄付者に優遇措置はナシ）

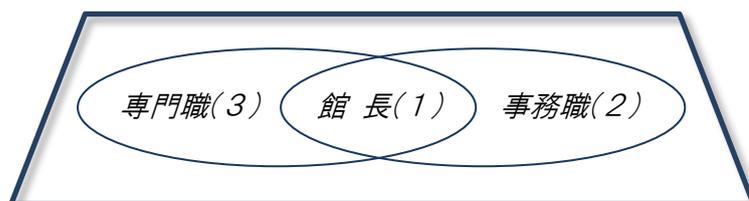


（一般の人(利用者)には伝わりにくい）

メリットが少ない ⇒ 「登録博物館」とする必要があるのか？

### ●学芸員について

1 学芸員（企画、研究、管理・活用）	1人	
2 教育指導員（学習支援、市民交流、貸出し）	1人	3
3 広報員（広報、営業）	1人	
~~~~~		
館長（非常勤）	1人	1
~~~~~		
副館長（一般職）	1人	
事務職（一般職）	1人	2
~~~~~		
計	6人	



### ■いずれにしても、

⇒ “**特色(柱)を創り出す**” ことの必要性 ⇒ 「**目指すべき姿**」の明確化

⇒ 必然性はいるのか？

⇒ 他館との**差別化**（東京には無いモノ、できないコトを）